

# 鉄 道

## ( J R 常 磐 線 )

- ① 不通区間：広野～原ノ町、相馬～浜吉田
- ② 相馬～浜吉田駅間について、まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、J R 東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討。  
この検討結果等を踏まえ、ルート移設等により用地取得等を前提として、平成 26 年春の工事着手、概ね平成 29 年春頃の運転再開を目指す。
- ③ 福島第一原子力発電所事故に伴い設定された警戒区域及び避難指示区域内の区間（広野～原ノ町）については、線路上の空間線量調査（環境省（磐城太田～桃内駅間、竜田～広野駅間））を行った区間において、駅施設等の除染を必要に応じ実施するなど、「避難指示区域内における J R 常磐線復旧に係る検討チーム」において、J R 常磐線の復旧調査・工事を進めていく上での課題に対応するための支援を実施。
- ④ 平成 24 年度における成果  
平成 25 年 3 月 16 日に、浜吉田～亘理駅間が運転再開。  
相馬～浜吉田駅間について、用地取得等を前提として、平成 29 年春頃の運転再開を提示。また、事業基本計画の変更等、鉄道事業法に基づく手続きを実施。  
広野～原ノ町駅間の運行再開に向けた関係者間の調整のため、「避難指示区域内における J R 常磐線復旧に係る検討チーム」を設置し、線路上の空間線量調査（環境省（磐城太田～桃内駅間、竜田～広野駅間））及びバラスト等における放射能濃度調査（原子力安全基盤機構）を実施。
- ⑤ 平成 25 年度の成果目標  
相馬～浜吉田駅間については、ルート移設等により用地取得等を前提として、平成 26 年春の工事着手、概ね平成 29 年春頃の運転再開を目指す。  
福島第一原子力発電所事故に伴い設定された警戒区域及び避難指示区域内の区間（広野～原ノ町）については、線路上の空間線量調査（環境省（磐城太田～桃内駅間、竜田～広野駅間））を行った区間において、駅施設等の除染を必要に応じ実施するなど、「避難指示区域内における J R 常磐線復旧に係る検討チーム」において、J R 常磐線の復旧調査・工事を進めていく上での課題に対応するための支援を実施。

インフラ復旧の工程表（鉄道）

平成25年4月末現在

●→ : 工程が見込めるもの      ●……→ : 工程が現時点で見込みにくいもの

整備主体	被災/稼働状況	H24年度に実施したこと(成果)	H25年度に実施すること(目標)	H25年度				H26年度				H27年度				H28年度以降	備考・ポイント等
				4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
<b>交通網・鉄道</b>																	
JR常磐線	JR東日本	不通区間: 広野～原ノ町、 相馬～浜吉田	<p>・平成25年3月16日に、浜吉田～亶理駅間が運転再開。</p> <p>・相馬～浜吉田駅間について、用地取得等を前提として、平成29年春頃の運転再開を提示。また、事業基本計画の変更等、鉄道事業法に基づく手続きを実施。</p> <p>・広野～原ノ町駅間の運行再開に向けた関係者間の調整のため、「避難指示区域内におけるJR常磐線復旧に係る検討チーム」を設置し、線路上の空間線量調査(環境省(磐城太田～桃内駅間、竜田～広野駅間))及びパラスト等における放射能濃度調査(原子力安全基盤機構)を実施。</p>	<p>・相馬～浜吉田駅間については、ルート移設等により用地取得等を前提として、平成26年春の工事着手、概ね平成29年春頃の運転再開を目指す。</p> <p>・福島第一原子力発電所事故に伴い設定された警戒区域及び避難指示区域内の区間(広野～原ノ町)については、線路上の空間線量調査(環境省(磐城太田～桃内駅間、竜田～広野駅間))を行った区間において、駅施設等の除染を必要に応じて実施するなど、「避難指示区域内におけるJR常磐線復旧に係る検討チーム」において、JR常磐線の復旧調査・工事を進めていく上での課題に対応するための支援を実施。</p>	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	●……→	<p>・相馬～浜吉田駅間については、ルート移設等により復旧することし、用地取得等を前提として、概ね、平成29年春頃の運転再開を目指す。</p>

※本工程表に記載の内容については軽微な修正を行う場合があります。